

■薄田泣菫 詩人、随筆家。浪漫詩大成で蒲原有明と双璧。後半生は随筆家として、日本の新聞コラム史上最高傑作。

すすきだきゅうきん

西南戦争・・1877＝ 岡山県連島村(倉敷市)で長男に生れる。

明治14年政変1881＝ 4歳：

帝国大学始・1886＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝12歳：

岡山中学を二年で中退、

東京で3年間ほど苦学して文学的教養を身につけた後は、

日清戦争始・1894＝17歳：

日清戦争終・1895＝18歳：

関西に住む。

八幡製鉄始・1897＝20歳：J.キーツやW.ワーズワースの影響による日本最初のソネット形式を含む雑誌投稿の詩作で認められ、

Bushidou・・1899＝22歳：

*第1詩集「暮笛集」によって詩壇的地位を確立、
やがて島崎藤村、土井晩翠に続く時期の代表的詩人となる。

田中正造直訴1901＝24歳：

「ゆく春」、

日露戦争始・1904＝27歳：

日露戦争終・1905＝28歳：

「二十五絃」、

満鉄発足・・1906＝29歳：

*「白羊宮」などの詩集では、浪漫詩から象徴詩にわたる詩風のうちに、古語や死語を復活採用して詩語を豊かにすると同時に、さまざまな新詩律を試みて、蒲原有明とともに文語定型詩の完成に貢献。"公孫樹下にたちて""ああ大和にしあらましかば"などは近代詩の絶唱の一つである。

明治40年代に入ると詩興衰え、また、生活のためもあって、

明治天皇没・1912＝35歳：

大阪毎日新聞社に入社、以後は随筆家として生きる。

大正政変・・1913＝36歳：

21ヶ条要求・1915＝38歳：

*{大阪毎日}紙上に随筆{茶話}を連載し始めると、爆発の人気となり、

民本主義・・1916＝39歳：

「茶話」出版。

ロシア革命・1917＝40歳：

パーキンソン病に罹って字が書けなくなっても口述筆記で続け、

本格政党内閣1918＝41歳：

「後の茶話」出版、

ベルサイユ条約・1919＝42歳：

学芸部部長。「新茶話」出版と続いて、日本の新聞コラム史上最高傑作といえるものとなった。

原敬首相暗殺1921＝44歳：

水平社結成・1922＝45歳：

関東大震災・1923＝46歳：

*病状悪化し休職。

世界恐慌・・1929＝52歳：「艸木虫魚」、

満州事変・・1931＝54歳：

帝人疑獄事件1934＝57歳：「独楽園」などの随筆がある。

日中戦争始・1937＝60歳：

大政翼賛会・1940＝63歳：

日米開戦・・1941＝64歳：

敗戦・・・1945＝68歳：意識不明となり尿毒症で_没した。